

第278回 謳粋会の記

令和5年12月14日(木) 18:30~

カレンダーが最後の一枚になった。師走である。今日は最高気温が15℃、穏やかに晴れ太陽の光が届き心地よい。まさに小春日和である。

大リーグ・エンゼルスからフリーエージェントとなった大谷翔平選手がドジャースと10年7億ドル(約1015億円)の史上最高額の契約を結んだ。この金額はスカイツリー2.5基分だそうだ。

世界中に大打撃を与えた新型コロナウイルスが落ち着きを取り戻してきた。しかしロシアのウクライナ侵攻、イスラエル軍とイスラム主義組織ハマスの軍事衝突、中国の覇権主義(実効支配)、北朝鮮などなど個人では関与できない課題が蔓延している。テレビで天気予報の地図を見るたび、朝鮮半島・中国がすぐそばにあることが分かる。国と国との距離感が縮まっているのになんとかキナ臭い。

国内では、五輪汚職、政治資金パーティー収入の裏金化疑惑、オレオレ詐欺、ホストクラブの高額料金などなどお金にまつわる問題が多い。読売新聞の編集手帳に明治時代アメリカ人の動物学者が日本の国民性について、「鍵のかけぬ部屋の机の上に、私は小銭を置いたままにするのだが、日本人の子供や召使いは1日数十回出入りしても、触ってはならぬ物には手を触れぬ」こうした倫理観のほか、勤勉である、礼儀正しい、規則を守るとしている。忘れてはならない。

今回のお店は安井さんご紹介の有楽町東京国際フォーラム地下1階にある「酒蔵レストラン宝」である。近代的



で開放感のある席数120の大きなお店である。参加者は14名。店奥に8名テーブルと6名が並んでセットされていた。今日の飲み放題は日本酒地酒9種類が含まれている。テーブルには、お水と空のビールグラスがセットされていた。

生ビールを注文するとピッチャーが各テーブルに2杯ずつ運ばれてきた。乾杯は廣瀬から令和5年は12ヶ月休会なく開催されたことを報告し杯を重ねた。先付けが運ばれビール

を飲み干すと日本酒をオーダーする。日本酒9種類は、大山(山形)・浦霞(宮城)・開華(栃木)・久寿玉(岐阜)・春鹿(奈良)・白嶺(京都)・嘉美心(岡山)・司牡丹(高知)・西の関(大分)・蒼天伝(宮城)である。誰が何を飲んだかは不明である。料理は全てが美味しかった。銘々に、厚切りカツオの塩たたきが盛られたお造り3種、鰯の照焼き、鳥肉の酒粕味噌漬焼き、海老クリームコロッケと続き、食事は鶏と葱の稲庭うどん、デザートはシャーベットであった。お願いして地下通路のクリスマスツリーの前で集合写真を撮った。時計は8時30分を指していた。

参加者(敬称略・順不同) 大野・川俣・木内・久松・飯塚・後藤・長戸・安井・永井・小野・花上・桜井・永沼・廣瀬の14名
279回謳粋会は令和6年1月11日(木)に開催される。

<廣瀬記>